

※リストの順番は展示順とは異なります。

No.	作品名	制作年	技法・材質	サイズ（H×W×D）cm	所蔵先
Ⅰ 彫刻家としての歩み ―人物像での成功を目指して―					
1	D氏像	1879	石膏	65.6×36.3×31.9	群馬県立館林美術館
2	ポール像	1884	テラコッタ	38.4×21.1×17.8	群馬県立館林美術館
3	ベルト・ボンボン	1894-1932	石膏	22.7×24.9×19.9	群馬県立館林美術館
4	サント・カトリーヌ	1886-1888	石膏	41.3×42.8×36.2	群馬県立館林美術館
5	コゼット	1888	ブロンズ	41.0×18.0×13.0	群馬県立館林美術館
6	生まれたての雛鳥、割れた卵	1892	大理石	8.0×9.5×13.5	ディジョン美術館 （パリ、国立自然史博物館より寄託）
7	スカートの裾をたくしあげるコルセットの女性	1894	石膏	42.2×17.7×18.7	群馬県立館林美術館
Ⅱ 動物彫刻の誕生とその背景					
Ⅱ-1 田舎の動物をモデルに ―塑像と石彫り					
8	ルネ・ド・ポール・ド・サン＝マルソー	1900	ブロンズ	21.2×7.0×6.0	ディジョン美術館 （パリ、国立自然史博物館より寄託）
9	ブーヴルイユの教会	1900年頃	石膏	14.8×14.0×12.5	群馬県立館林美術館
11	ほろほろ鳥の頭	1910-1914	石膏	7.3×10.5×6.8	群馬県立館林美術館
12	雨の中を駆け回る雄鶏	1923	石膏	5.5×8.3×4.6	群馬県立館林美術館
13	七面鳥	1923-1924	石膏	8.8×9.3×5.7	群馬県立館林美術館
14	七面鳥	1923-1924	石膏	8.8×9.3×5.7	群馬県立館林美術館
15	二羽の雌雉	制作年不詳	鉛筆、グワッシュ、 インク・紙	27.0×45.0	群馬県立館林美術館
16	2つの姿勢の雌雉	制作年不詳	インク、 グワッシュ・紙	32.4×17.0	群馬県立館林美術館
17	餌をついばむ雄鶏	1907	ブロンズ	28.6×14.8×27.0	ディジョン美術館 （パリ、国立自然史博物館より寄託）
18	歌う雄鶏	1923-1924	ブロンズ	8.5×6.5×4.4	群馬県立館林美術館
19	仔牛	1900	石膏	11.4×14.1×7.8	群馬県立館林美術館
20	狼の頭	1926-1927	石膏	9.4×5.4×6.0	群馬県立館林美術館
21	仔鹿	1927-1928	石膏	19.3×24.6×9.3	群馬県立館林美術館
22	水上で胸を張る鴨	1932	石膏	6.2×9.2×4.2	群馬県立館林美術館
23	モグラ	1908	ベルギー産硬石	47.0×42.0×46.0	ソーリュウ、フランソワ・ボンボン美術館 （パリ、国立自然史博物館より寄託）
24	牝豚と子豚たち	1929	サンバン産の石	25.0×23.5×43.2	ディジョン美術館 （パリ、国立自然史博物館より寄託）
Ⅱ-2 なめらかな動物彫刻 ―ボンボン様式の誕生					
25	カイエンヌの雌鶏	1906-1924	インク・紙	9.2×8.6	群馬県立館林美術館
26	アヒルのメダル	1907	ブロンズ	6.0×6.0×0.6	ディジョン美術館 （パリ、国立自然史博物館より寄託）
27	アヒル	1911-1927	石膏	18.1×14.8×8.8	群馬県立館林美術館
28	風見鶏	1908-1932	銅板	47.0×54.4×6.0	群馬県立館林美術館
29	羽をむしられて駆け回る雄鶏	1910	インク・紙	15.5×14.0	群馬県立館林美術館
30	羽をむしられて駆け回る雄鶏	1910	インク・紙	21.5×10.0	群馬県立館林美術館
31	羽をむしられて駆け回る雄鶏	1910	インク・紙	15.0×17.0	群馬県立館林美術館
32	七面鳥	1925	インク・紙	13.5×13.0	群馬県立館林美術館
33	鷺鳥	1926	石膏	25.9×21.7×13.8	群馬県立館林美術館
34	ほろほろ鳥	1910-1912	ブロンズ	19.8×23.4×10.7	群馬県立館林美術館
35	牝豚	1918	ブロンズ	11.0×20.0×5.5	群馬県立館林美術館
36	眼の突き出たフクロウ	1918-1923	石膏	18.6×8.5×8.5	群馬県立館林美術館
37	フクロウ	1923	ブロンズ	17.7×7.9×8.2	群馬県立館林美術館

II-3 パリの動物園にてー異国の動物と大型作品の夢					
39	キリン	1906	ブロンズ	18.5×5.0×13.0	ディジョン美術館 (パリ、国立自然史博物館より寄託)
40	ラクダ	1906-1930	ブロンズ	15.6×23.0×6.0	群馬県立館林美術館
41	バイソン	1925	ブロンズ	20.0×8.0×26.0	ディジョン美術館
42	カバ	1918-1931	石膏	21.2×23.0×8.5	群馬県立館林美術館
43	ペリカン	1924	ブロンズ	114.0×73.0×58.0	ディジョン美術館 (パリ、国立自然史博物館より寄託)
44	休んでいる冠鶴	1926	ブロンズ	108.0×37.0×60.0	ディジョン美術館 (パリ、国立自然史博物館より寄託)
45	立って頭を下げているインドの牝鹿	1927-1928	ブロンズ	12.5×20.8×8.0	群馬県立館林美術館
46	大鹿	1928-1929	石膏	55.1×35.1×21.8	群馬県立館林美術館
47	オラン・ウータン(頭部)	1930	石膏	34.3×23.0×20.0	群馬県立館林美術館
48	ライオン「メネリク」	1932	石膏	21.0×24.7×10.0	群馬県立館林美術館
資料					
S02	ボンボン旧蔵 絵はがき(アルバム)			28.0×38.0×4.7	群馬県立館林美術館
IV モデルへの温かなまなざしー彫刻に捧げた人生					
77	クロード・レイ	1922	石膏	32.1×17.3×16.5	群馬県立館林美術館
78	アンリ・デシャン	1932	油土	24.6×17.7×21.4	群馬県立館林美術館
79	コンドル	1923	石膏	25.5×18.0×9.3	群馬県立館林美術館
80	鳩「ニコラ」	1926-1927	石膏	30.4×27.7×17.7	群馬県立館林美術館
81	切断された巣の雌鳩	1928-1931	石膏	10.6×29.4×19.8	群馬県立館林美術館
82	巣の雌鳩	1928	ブロンズ	22.5×18.7×29.6	ソーリユー、フランソワ・ボンボン美術館 (パリ、国立自然史博物館より寄託)
83	ネネット	1929	ブロンズ	10.0×3.5×12.0	ディジョン美術館 (パリ、国立自然史博物館より寄託)
84	リボンをつけた牛	1930	ブロンズ	12.5×6.0×17.4	ディジョン美術館 (パリ、国立自然史博物館より寄託)
85	ポストン・テリヤ「トーイ」	1931	ブロンズ	31.0×34.5×15.0	ソーリユー、フランソワ・ボンボン美術館
86	立っているグレーハウンド「スタブツラ」	1932	ブロンズ	24.0×12.0×31.0	ディジョン美術館 (パリ、国立自然史博物館より寄託)
87	シロクマ(頭部)	1930	ブロンズ	38.0×40.5×43.0	ソーリユー、フランソワ・ボンボン美術館 (パリ、国立自然史博物館より寄託)
88	アンリ・マルティネ 《フランソワ・ボンボンの頭像》	1932	石膏	47.9×18.9×27.8	群馬県立館林美術館
資料					
S01	ボンボンと鳩ニコラ		写真	60.0×49.8	群馬県立館林美術館
S08	ロベール・レイ著『フランソワ・ボンボン』 G.クレス出版社	1928	書籍	19.8×15.2×1.7	群馬県立館林美術館
	「フランソワ・ボンボン 1855-1933」展覧会カタログ	1994	書籍		群馬県立館林美術館
III ボンボンの活躍と評価					
III-1 《シロクマ》の誕生ー動きとフォルムの美					
49	ヒグマ	1918-1926	石膏	10.5×15.5×5.9	群馬県立館林美術館
50	ヒグマ	1918-1926	石膏	10.2×15.4×5.9	群馬県立館林美術館
51	ヒグマ	1918-1926	ブロンズ	9.2×15.8×7.0	群馬県立館林美術館
52	シロクマ	1921-1924	無釉硬質磁器	20.4×39.4×7.3	群馬県立館林美術館
53	シロクマ	1923-1933	銀合金	24.0×44.0×12.4	群馬県立館林美術館
54	シロクマ	1923-1933	白色大理石	24.7×45.5×11.7	群馬県立館林美術館
55	パン	1923年頃	ブロンズ	26.0×29.0×12.0	群馬県立館林美術館
56	紅ヨーロッパやまうずら	1924-1931	石膏	27.1×22.2×11.0	群馬県立館林美術館
57	紅ヨーロッパやまうずら	1923	ブロンズ	25.0×9.5×23.0	ディジョン美術館 (パリ、国立自然史博物館より寄託)
58	戯れる豹	1927	石膏	8.2×12.7×4.4	群馬県立館林美術館

59	跳ぼうと構えた豹	1927	ブロンズ	21.0×16.0×7.5	ディジョン美術館 (パリ、国立自然史博物館より寄託)
60	斑点のある豹	1921-1922	石膏	14.9×32.4×6.5	群馬県立館林美術館
61	黒豹	1922-1924	石膏	14.2×32.8×6.6	群馬県立館林美術館
62	斑点のある豹	1925	ブロンズ	21.4×53.5×12.0	ソーリュウ、フランソワ・ボンボン美術館
63	黒豹	1925	石膏	14.1×38.1×4.6	群馬県立館林美術館
64	遊ぶ雌トラ	1922	ブロンズ	25.2×13.0×60.5	ディジョン美術館 (パリ、国立自然史博物館より寄託)
65	大黒豹	1930-1931	ブロンズ	25.0×81.0×14.0	群馬県立館林美術館
資料					
S03	「現代動物芸術家展／フランソワ・ボンボン展とアトリエ再構成」ポスター (パリ、国立自然史博物館)	1934 (リプリント)	印刷・紙	68.3×48.8	群馬県立館林美術館
S04	「ブロンズ動物彫刻家の1世紀—1875年から1975年まで—」展ポスター (パリ、ギャルリ・ポール・アンプロワーズ)	1975	印刷・紙	64.2×45.4	群馬県立館林美術館
S05	「動物—ラスコーからピカソまで—」展ポスター (パリ、国立自然史博物館)	1977	印刷・紙	59.6×40.0	群馬県立館林美術館
S06	「パリの現代動物図像集」展ポスター (パリ、第7区庁舎)	1985	印刷・紙	59.6×40.0	群馬県立館林美術館
S07	「ボンボンと近代彫刻—自然と抽象」展ポスター (ディジョン美術館)	1994	印刷・紙	155.5×120.0	群馬県立館林美術館
III-2 究極の洗練を求めて—古典とモダン／アール・デコの時代に					
66	雉鳩	1919	ブロンズ	24.0×8.7×9.5	群馬県立館林美術館
67	雉鳩	1919	石膏	24.9×8.9×10.1	群馬県立館林美術館
68	眠っている雄鶏	1923	石膏	23.0×30.5×12.6	群馬県立館林美術館
69	水上の鴨	1911	ブロンズ	16.0×7.7×13.4	ディジョン美術館 (パリ、国立自然史博物館より寄託)
70	ハゲコウ	1921	ブロンズ	15.5×6.0×9.0	ディジョン美術館 (パリ、国立自然史博物館より寄託)
71	子豚	1925	ブロンズ	15.0×9.0×23.4	ディジョン美術館 (パリ、国立自然史博物館より寄託)
72	猪	1925-1929	石膏	22.8×37.1×10.0	群馬県立館林美術館
74	カラス	1929	ブロンズ	49.5×16.5×38.5	ディジョン美術館 (パリ、国立自然史博物館より寄託)
75	オオバン	1913	ブロンズ	28.0×6.5×19.5	ディジョン美術館 (パリ、国立自然史博物館より寄託)
76	錦鶏 (キンケイ)	1933	磨かれたブロンズ	44.8×10.0×26.5	ディジョン美術館 (パリ、国立自然史博物館より寄託)

～ウェブアンケートご協力をお願い～

展覧会の感想をお聞かせください。

二次元バーコードを読み込んでご回答ください。

